

情報センター(教育連携講座) 伊藤 剛和 教授

教育工学的アプローチによる体系的・
系統的な児童生徒の情報活用能力育成

キーワード 教育工学/ 情報教育/ 教員のICT活用指導力

どのような研究をなぜ行っているか

情報教育を推進するために、様々な角度から研究・実践を展開しています。
主に整理すると次の3点です。

・教育支援システムの開発・運用

新たなニーズの教育活動の有用性を確かめていくため、その活動の場に応じた教育支援システム開発や運用を展開し知見を共有してきました。当時の学校現場では、教室から通信できない状況下でしたが、日本各地の学校が共同して活動する取組（遠隔共同学習）を支援する役割を担ったこともあります。今日では技術的進展でネットワーク環境や端末・デバイス環境がより普及・充実してきましたので、開発スタンスよりも、所属組織での実務的な情報基盤の運用そのものを実践する一方で、学校現場の運用への支援活動おこなっています。

・児童生徒の情報活用能力育成

これからの社会を支える人材に必要な力の一つとして、情報活用能力を位置づけており、これを学校教育で馴染むような学校現場での展開方略の実践検証や、理解者・推進者を広げていくための、体系的・系統的な能力像の整理活動を取り組んでいます。

・教員のICT活用指導力向上

教師の支援という動機から、上であげた活動とともに、情報教育を推進する人材の能力像の整理と合わせて、その資質能力を向上させるための研修のデザインや教材開発などを取り組んでいます。

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

教員のICT活用指導力向上に取組の成果物である、研修テキストや教材群・研修プログラムは、広く配布してきており、教員の自己研鑽や教育センター等での研修、免許状更新講習等で活用頂きました。

学校現場へは、学校全体が、その学校独自に掲げる教育目標・教育ビジョンを土台に、日々の教育活動を、児童生徒の情報活用能力という視点で整理し、研究授業や校内研修を活性化するような支援を実施してきています。



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・（企業・有識者・学校現場等との協働）による各種教育支援システム開発・運用
- ・「教員養成課程等におけるICT活用指導力の育成のための調査研究」委員(国立教育政策研究所)
- ・教育ICT環境整備検討会委員(長岡京市教育委員会)
- ・奈良県GIGAスクール構想推進協議会役員
- ・京都市立藤城小学校学校運営協議会委員 等